



2011 年度アクションポート横浜 事業報告書

2011/4/1-2012/3/31

NPO 法人アクションポート横浜

1. 市民や組織の連携により、新たな事業やシステムを創造するためのプロジェクト

■協働推進委員会

NPOと企業に加えて、大学等の組織、有識者にも参加いただき、セクター間の協働をすすめる「協働推進委員会」を設置・運営を行った。7回開催。

2011年4月6日(水) 15:00-17:00 2011年6月2日(木) 15:00-16:30
2011年7月1日(金) 14:00-16:00 2011年8月22日(月) 15:00-17:30
2011年10月21日(金) 15:00-17:00 2011年12月12日(月) 15:00-17:00
2012年3月16日(金) 15:00-17:00

■NPOと企業のマッチングを図るための交流会の開催

NPO法人横浜スタンダード推進協議会と連携し、横浜型地域貢献企業等の企業とNPOの交流会の実施および参加、また、NPOと企業のマッチングを図るためのバスツアーを実施した。

○「横浜型地域貢献企業交流会—企業とNPOが協力する意味の実施」

(コラボレーションカフェとしてNPO法人横浜スタンダード推進協議会共催)

日時：2011年7月15日(金) 15:00-17:00(交流会) 17:30- (懇親会)

場所：ロイヤルホールヨコハマ

参加者：80名



○「企業とNPOの現場を見る体感バスツアー」

日時：3月7日(水) 10:00 ~ 19:00

集合：10:00 JR石川町駅改札 解散 19:00 横浜ビール現地解散

訪問先：NPO法人さなぎ達→石井造園株式会社→片倉うさぎ山プレイパーク→株式会社横浜ビール

参加者：20名



○横浜型地域貢献企業交流会への参加

2011年10月19日(水) 15:00-20:00 2012年3月22日(木) 17:00-20:00

■川崎・社会貢献型スキルアップセミナーへの協力

2011年11月28日に川崎で開催された社会貢献型スキルアップセミナーの講師を、協働推進委員会の3人がつとめ、運営に協力した。

【成果と次年度に向けて】

□協働推進委員会では企業、大学、NPO関係者が集まり、活発な議論ができたので、今後も継続して開催する。

□バスツアーや交流会の実施により企業とNPOの顔の見える関係作りができた。また、横浜型地域貢献企業とのつながりやニーズ把握もできたので次年度はより連携できる形を作っていきたい。

■共同作業の場：横浜サンタプロジェクトの実施

企業・NPO と連携して実行委員会を結成し、横浜に笑顔をプレゼントするというテーマで、4つのサンタが様々な活動を行った。企業に働きかけ車や物品の提供をお願いし、活動に参加しやすい土壌をつくることができた。

日時：2011年12月10日（土）12：30～16：00 実施

参加者（サンタ）：500名

対象者：500名 ＊訪問先の子ども達などの人数



- ・訪問サンタ：横浜市内の6施設にオープンカー、黄色のパトカーでサンタが訪問しました。
- ・広場サンタ：パシフィコ横浜円形広場にて、子どもたちがサンタとなる企画を実施しました。
- ・ドライブサンタ：子どもたちを対象にオープンカーのミニドライブ体験を行いました。
- ・清掃サンタ：YOKOHAMA Refresh!、ヨコハマ☆スカベンジ大作戦と合同で実施しました。
- ・交流会：ブリリアショートショートシアターにて参加したサンタが集まり、当日の活動報告を行うとともに交流を深めました。
- ・その他：
 - ・横浜市長よりメッセージが届き、開会式で読み上げました。
 - ・神奈川新聞一面にて活動が紹介されました（12月11日掲載）
 - ・みなとみらい21助成金、横浜市社会福祉協議会善意銀行等の助成金を受託

主催：サンタが街にやってきた！2011実行委員会

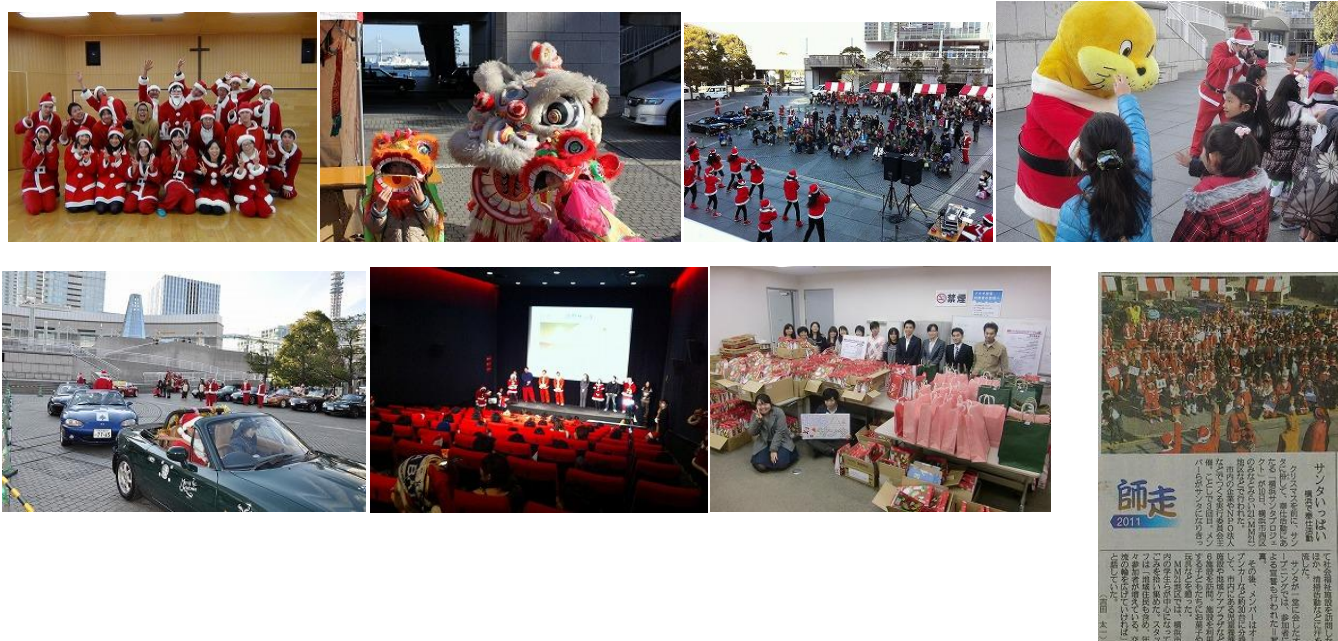
有限責任 あずさ監査法人、株式会社イベント・コミュニケーションズ、NTTソフトウェア株式会社、株式会社大川印刷、大塚製薬株式会社、神奈川県印刷工業組合、首都高速道路株式会社、FILM HOUSE AMANO STUDIO 森日出夫、株式会社フェアスタート、ブリリア ショートショート シアター、プロミス株式会社 横浜お客様サービスプラザ、マツダ株式会社、横浜市社会福祉協議会、横浜中華街パーキング協同組合、NPO 法人アクションポート横浜

共催：「ハマっ子☆サンタ記念日♪」として活動します。

I LOVE YOKOHAMA、ヨコハマ☆スカベンジ大作戦実行委員会

協力企業・団体：中越パルプ工業株式会社、にこば横浜ジャックモール店、横浜・八景島シーパラダイス、本町小学校放課後キッズクラブ、横浜信用金庫横浜ジェリービーンズ倶楽部、慶応大学手話サークル MiMi、横浜マリノス株式会社、リコージャパン株式会社、ヨコハマ・グッズ001会員企業、株式会社 JCN 横浜、MMcc（みなとみらいコミュニティクラブ）、コーエーテクモホールディングス株式会社、株式会社タカラトミー、株式会社タカラトミーアーツ、株式会社八雲堂、ロードスタークラブ・オブ・ジャパン、マツダデミオオーナー有志、ク リクラ東横、コカ・コーラセントラルジャパン株式会社、ヒラノ商事株式会社、有限会社三和楼、謝甜記商事有限会社、はまれぽ.com、相鉄グループ（相模 鉄道株式会社 / 相鉄バス株式会社/相鉄ホテル株式会社 / 相鉄ビジネスサービス株式会社/相鉄自動車株式会社 / 相鉄企業株式会社 / 株式会社イスト）

4)後援：横浜市文化観光局



【成果と次年度に向けて】

- サンタプロジェクトでは、積極的な企業の関わりを引き出すこと、また事前の後方 PR に成功し、目標であった 500 名の参加を達成した。また、プレゼントの協賛という形での幅広い企業との連携ができた。
- 前年度課題であった広場サンタについては
- サンタプロジェクトの広場サンタでは次年度の資金獲得が課題となった。次年度は早めから協賛集めなどを行い、自立したイベントになっていくように努力したい。

■横浜型コミュニティサイクル「baybike」への運営協力

横浜市・株式会社 NTT ドコモが運営主体として実施している「横浜都心部コミュニティサイクル社会実験」へ参加した。(2011 年度より 3 年間実施) 社会実験の運営主体である株式会社 NTT ドコモと契約し、自転車の点検や管理、マナー啓発などを行うクルー（スタッフ）の配置などの運営協力を行った。



Obaybike の運営

クルーを配置し、以下の業務を実施した。

期間：2011 年 4 月 25 日～2012 年 3 月 31 日 7:00-22:00

実施体制：クルーリーダー1 名、クルー3 名を常時配置（ローテーション勤務）

活動内容：

ルーティン作業：自転車点検、清掃、ポート状況の確認作業など

自転車の再配置：ユーザーの利用により偏った配置となった自転車を利用率に合わせて配置した。

バッテリー交換：ソーラー発電による給電を行うポートのバッテリーを交換した。

お客様対応：ベイバイク利用時に自転車やポートで不具合に見舞われたユーザーに必要な対応をした。また、利用に関する詳しい案内も行った。

リーダー業務：クルーにルーティン作業や、自転車の再配置の指示、指導、ユーザーへの電話対応を行った。

○クルーの配置

baybike の運営を行うクルーリーダー及びクルーを配置した。また、クルーの募集については学生やシニアに加えて、様々な特徴や属性をもつ人たちの参加も歓迎し、社会参加の場を作った。

クルーリーダー：10名

クルー：46名

○運営会議の実施

- ・リーダー会議：隔週1回、水曜日と金曜日の交互に開催。18:00-20:00で実施
- ・ドコモとの運営会議：毎月第一金曜日 15:30-17:30で実施

○イベントへの参加協力の実施

- ・カーフリーデー：2011年9月23日

内容：パレードへの参加、ステージでクルーのメッセージを発信した。

- ・エコライド：2011年10月30日

内容：ベイバイククルーによるエコライドへの参加。

- ・ガスライトフェスティバル：2011年10月31日

内容：臨時登録所のサポートと、ベイバイクの説明、案内。

- ・横浜ベ이스ターズファン感謝デー：2011年11月23日

内容：ベイバイク臨時登録所サポート、登録への特典として行われる選手握手会のサポート。

- ・フリーライド：2011年11月27日～現在まで。（年末年始を除く）

内容：湘南ベルマーレのプロの自転車チームを講師に迎え、3歳以上の子どもたちに向けて、自転車に乗れるようになるためのスクールを行った。クルーは練習中の子どものサポートや監視を行った。

- ・キッズスクール：2011年11月27日、12月18日、2012年2月5日 3月4日 3月25日

- ・フリーペーパー、WEBサイト構築

ベイバイクを利用して発見できる街の魅力をクルー目線で発信するWEBサイトとフリーペーパー作成の準備を行った。



- ・ベイバイク総会の実施

ドコモ、アクションポート横浜による、1年間の運営実施報告を行いました。

また、ベイバイクに関わる、アクションポート横浜、ドコモ、ドーコン、クレアティサービスのメンバーが膝を交え、ワークショップを行い、「どのような横浜にしたいか」などについて話し合いました。

参加者：約40名



【成果と次年度に向けて】

□ベイバイクでは様々な特徴や属性を持つクルーの雇用を行い、交流や成長の生まれる場となった。今後も成長の生まれる場として継続していきたい。

□ベイバイクの運営の中からクルーの意見やアイデアを引き出すことができ、今後はフリーペーパーを発行することになった。こうした機会を通じてまちの魅力の発信や、まちづくりへの提言へとつなげていきたい。

■今後のベイバイクの運営にあたっては体制作りが今後の課題となった。きちんとした体制を作り、より効率的、効果的な運営を行っていきたい。

2. 市民や市民活動団体の地域の課題解決や、そのための組織運営を支援するプロジェクト

■ヨコハマ市民まち普請事業（横浜市都市整備局との協働事業）

（1）ヨコハマ市民まち普請事業（横浜市都市整備局との協働事業）

市民が主体となった身近なまちのハード整備に関する提案を募集し、2段階の公開コンテストで選考された提案に対して、最高500万円の整備助成金を交付するなど、市民のまちづくり活動への支援を行う事業。横浜市、NPO 市民セクターよこはま、との3者協働事業。アクションポート横浜が担当し実施した事業は以下の通り。

○整備成果報告会・活動懇談会の企画運営

日時：平成23年10月16日（日）

午前9時半～午後5時

○広報製作物の企画・制作

- ・「整備成果報告会の募集チラシ」
- ・「提案募集のチラシ」
- ・「提案募集のポスター」



○「H21 年度整備・事例集の製作」

- ・事例集 Vol.5 平成21年度選考・平成22年度整備完了の事例の取材を行いまとめた。

○部会運営の補助

- ・横浜市地域まちづくり推進委員会ヨコハマ市民まち普請事業部会の運営補助（資料作成・議事作成等）

○まち普請現場体感バスツアー

- ・一般市民向けにこれまでの整備事例をバスで回り見学するツアーを企画実施した。

平成24年2月18日（土） 午前9時～午後4時

見学コース

- 1 「西戸部地域」の雨水・湧き水を利用した地域の防災力アップ整備（西区）
- 2 プレイパークのコミュニケーション拠点整備「うさきちハウス」（神奈川区）
- 3 雨水貯留施設を活用したビオトープ整備「高田東小学校」（港北区）
- 4 気軽に集まるコミュニティサロン整備「鶴見ふれあい館」（鶴見区）
- 5 湧き水を活かして荒れた山を環境学習の場に整備「ホタルの里」（瀬谷区）
- 6 バス停前のゴミだらけの斜面を花一杯に「舞岡バス停前」（戸塚区）

【成果と次年度に向けて】

□まち普請事業は、市民主体によるまちづくり支援制度の全国的にも先駆的な事業である。事業の目的、助成を受けた団体の整備や地域との関係作りなど、市民主体のまちづくりの広がりという、事業の目的や方向性がはっきりしており、市民に浸透してきている。

□横浜市との協働の関係は良好であり、各々の特徴を活かした形で事業が進めることが出来た。

■予算削減による、助成金額の総額が減額されており、支援対象が減りつつある。

■応募者は減少傾向にある。事業に参加した市民や専門家などからの評価は高いものの、広く市民へ制度が浸透しているとは言い難い。一層の広報や市民への情報の伝達が必要とされている。

■事業の進行管理だけでなく、実際の市民の提案活動における支援などもう少しアクションポートの組織の特徴を活かした形の支援や活動の展開を検討したい。

特に、この制度を活用した、市民主体のまちづくりの推進、市民の支援などに力を入れていきたい。

■神奈川県子ども・子育て支援活動調査・普及事業（神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部次世代育成課委託）

○子育て支援団体活動状況アンケートの実施

神奈川県内の子育て支援団体に活動・運営の状況及び、連携・協力の現状、課題等について把握するためのアンケートを実施した。

アンケート実施期間：2011年10月1日—12月31日 実施数：889 有効回答数：126

○子ども・子育て支援フォーラムの運営

県内の多様な活動団体がテーマごとに情報交換し、議論する交流会が行われた。

また、午後からは「かながわ子ども・子育て支援活動交流フォーラム」も実施され、運営サポートを行った。

日時：2011年10月28日（金）10：00-12：00 場所：メルパルク横浜

交流会1：「地域で子育て・親育ち！」

交流会2：「お外で一緒に子育て！」

交流会3：「特別な支援が必要な子どもたちと！」

交流会4：「企業も子育て！」

○報告書の作成

活動のまとめとして報告書を作成し、配布した。



3. 市民活動や地域の課題解決に関する相談、コーディネート

市民活動や地域の課題解決に関する相談に対応し、随時助言や紹介を行った。

特に企業、若者(大学生・若手社会人)などからの相談が多く、NPOとのマッチング、紹介などを行った。

4. 市民活動や地域の課題解決に関する情報提供と問題提起

■ホームページの運営

アクションポート横浜のホームページ (<http://actionport-yokohama.org/>) の運営と内容の充実を図った。

■メールマガジンの発行

APY 通信を毎月1回発行し、会員向けに情報発信と活動報告を行った。

■会員相互のコミュニケーション手法の検討

会員相互のコミュニケーション手法として、メーリングリストを活用し、アクションポートの事業への参加の呼びかけ、アクションポートに寄せられる情報の発信を行う他、会員が参加する活動の情報等が寄せられた。

■市民活動きっかけレポート（横浜市市民局から受託）

横浜市内で市民活動をしている市民の方（12名）に活動を始めたきっかけやその活動を通じて感じたことを取材し、市民活動を始めるきっかけづくりとなるレポートをまとめ、ホームページで公開した。



【成果と次年度に向けて】

□APY 通信は今年度初めての試みだったが、アクションポート内の活動の様子を会員に伝えることができた。会員からの反応もあったが、情報量がまだ少ないので、今後は増やしていけるように努力したい。

□市民活動レポートにあたって取材を通じて、市民がどのようにボランティアに関わってきたか、ということが見えてきて、興味深い取材となった。この取材で終わらずに得た情報を整理して発信できるような場を作っていきたい。

5. 市民活動や地域の課題解決に関する政策提案

■協働の新たなステージへの環境創出事業への参加（新しい公共事業）

継続して参加している「新しい協働を考える会」が、2011年度は新しい公共事業に提案し、「協働の新たなステージへの環境創出事業」が採択されたので、2011年度も事業に参加し、異なるセクター間の協働のあり方についての実践的な研究を行っている。

この事業は神奈川県内の中間支援組織、横浜市内の子育て支援拠点、文化や環境、就労支援のNPOなど、多分野のNPOとネットワークを組み、県内の協働の課題を洗い出し、ネットワークで解決の手法を模索していくことを目的としている。課題の抽出はネットワーク参加団体に「相談窓口」となってもらい、ケース会議で議論、その成果はHPで随時共有できるような環境づくりを行っている。



2011年度、2012年度の二か年事業であるので、2012年度も継続して事業を行い、アクションポートは協議体の委員としての参加のほかに、事務局のサポートも行っている。

【成果と次年度に向けて】

2011年度は実質2012年1月からの事業で、非常に時間的な制約があったので、県内の多様な団体とのネットワークづくりが中心となった。その中で、多くの団体が相談窓口となり、「協働についての相談窓口ができた」ということが少しずつ浸透しているので、相談もいくつか持ち込まれ、ケース会議を先行して行うことができた。その意味では、事業の基盤を築くことができた、と言えよう。

2012年度はこの基盤を生かし、実質的な事業に取り組んでいく。事業の最後にはシンポジウムも予定しているので、成果を多くの方々と共有したい。事業終了後にお互い「協働」については相談できるようなネットワークが構築できることを目的とする

■NPOに関わる法制度についての政策提案

NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会、かながわNPO研究会、NPO政策いちば運営団体会に加盟し、NPO支援税制の動向やNPO政策いちばプレイベントなどを、ホームページや会員メーリングリストでの発信した。

6. 市民活動や地域の課題解決に関する人材の発掘と育成

■NPO インターンシップ（学生の NPO 活動体験の実施）

市内の大学と協力し、学生が NPO で夏休み期間中に NPO でインターンとして活動するシステムを運営した。2011 年度は、6 大学 50 名の学生が、21 団体でインターンとして活動した。



◆参加大学

横浜国立大学（地域課題実習「市民活動を体験して考える協働型まちづくりプロジェクトⅢ」）、
横浜市立大学（まちづくり体験実習Ⅱ）、神奈川大学（実社会体験研究・インターンシップ準備演習）
関東学院大学（インターンシップ・インターンシップ A, B・ソーシャルサービス学外実習 A, B）
フェリス学院大学（ボランティア活動 1, 2, 3）、桜美林大学

◆参加 NPO

団体名	活動分野
株式会社イータウン（港南台タウンカフェ）	交流の場、カフェ、起業
特定非営利活動法人 WE 21 ジャパン	リサイクル・国際協力
片倉うさぎ山公園遊び場管理運営委員会	プレイパーク
特定非営利活動法人 かながわ外国人すまいサポートセンター	外国籍住民支援
特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド	若者・子育て支援
特定非営利活動法人 教育支援協会	子どもの体験学習支援
特定非営利活動法人 グリーンママ	子育て支援
コトラボ合同会社（ヨコハマ ホステル ビレッジ）	コミュニティ再生、起業
地域ビズ左近山（あんさんぶる）	交流の場、カフェ
特定非営利活動法人 さなぎ達	ホームレス自立支援
特定非営利活動法人 さくらザウルス	子育て支援
さわやか港南	交流の場、福祉サービス
特定非営利活動法人 障害者自立支援センター	障害者自立支援
多文化まちづくり工房	外国籍住民支援
特定非営利活動法人 地球市民 A C T かながわ	国際協力
特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーク	環境保全（川）
日本の竹ファンクラブ	環境保全（竹林）
特定非営利活動法人 ビーのビーの	子育て支援
特定非営利活動法人 横浜 NGO 連絡会	国際協力
特定非営利活動法人 横浜コミュニティデザイン・ラボ	情報・メディア
特定非営利活動法人 アクションポート横浜	市民活動支援

◆スケジュール

・ 学生募集	4 月～5 月
・ NP0 と大学の懇談会	4 月 2 8 日（木）夜
・ 事前研修会第 1 回（NP0 の基礎知識）	5 月 1 5 日（日）午前
・ 学生と NP0 のお見合い会	5 月 1 5 日（日）午後
・ 各学生の希望団体（第 3 希望まで）を大学に提出	～ 6 月中旬
・ 上記を大学がとりまとめてアクションポートに提出	6 月中旬
・ NP0 による学生の面接（各団体の事務所等にて）	6 月下旬～7 月上旬
・ 事前研修会第 2 回（受け入れ団体からの報告）	6 月 1 6 日（木）夜
・ 事前研修会第 3 回（インターンシップの心得）	7 月 7 日（木）夜
・ インターン期間	8 月～9 月の 2 週間程度（10 日以内）
・ 報告会 & 修了式	1 0 月 6 日

○その他

- ・ 学生チームによる活動ブログ

<http://npointernship.blog.fc2.com/>



【成果と次年度に向けて】

□日ごろ地域の活動や課題と接点をもちにくい学生に対してインターンシップの教育効果は大きい。

□若い人材不足に悩む団体にとって、若い世代と接点をもつことは、活動を活性化する機会ともなる。また若い世代をボランティアとしてのリクルートするいい機会ともなっている。

□今年度初めて「学生チーム」を結成し、運営部分を学生に手伝ってもらった。学生ならではの交流企画や相談対応などもでき、良い雰囲気学生通しでも顔の見える関係ができた。

□学生チームのアイデアで参加学生の活動体験をブログにアップしてもらったが、団体にも学生にも好評であった。

■10 日間のプログラムでは体験活動だけで受け入れの手間が多く、より長い期間での受け入れを希望する NP0 が多かった。次年度は長期インターンも視野に入れていきたい。

■大学の費用負担が難しく、受け入れ NP0 の謝金、事務局経費の捻出が厳しい。予算の確保が大きな課題である。

■若者による市民活動の広報支援プロジェクト（YOKOHAMA ACTIONPLANNER）

～若い力を地域へ活かすためのモデル手法の検討と実施

若者が地域や NPO に関わるプログラムモデルとして、プロボノ活動を実施しました。若手社会人約 50 名が参加し、NPO の広報支援や若者を巻き込んだプログラムなどを実施した。

○2010 年度成果報告会

2010 年度の YAP の活動の報告会を実施しました。当日は支援先の NPO の方、若者 30 名が集まった。

日時：2011 年 5 月 8 日（日）14:00－17:00

場所：横浜市市民活動支援センターワークショップ広場



○キックオフイベント

2011 年の YAP 活動の説明会を兼ねたキックオフイベントを開催

○交流活動

YAP メンバー同士の交流の機会としてイベントを実施。

- ・被災地支援報告会 7 月 9 日（土）14:00-17:00
- ・バーベキュー 9 月 17 日（土）11:00-16:00 @大池公園
- ・フリーマーケットへの参加 9 月 25 日（日）10:00-17:00 @八景島
- ・子どもたちと運動会 3 月 17 日（土）9:00-14:00 @川上小学校
- ・定例会 4 月 9 日（土）、5 月 14 日（土）、8 月 20 日（土）、
10 月 8 日（土）、12 月 17 日（土）、 1 月 14 日（土）



○求む！R24 のチカラ！“ヨコハマを変える 100 人”を集めるための作戦

（コラボレーションカフェとして YOKOHAMA ACTION PLANNER、ISSE、H&F と共催）

日時：11 月 26 日（土）15:00 ～ 18:00

会場：野毛 Hana*Hana

参加者：30 名

●プログラム●

○R24 世代の活動事例と課題

○アイデア出しワーク

○交流会



○横浜珍百景プロジェクト

若者目線で横浜の魅力を発掘していこうというプロジェクト。2012 年度に本格実施のためのプレイベントを 2 度実施した。

【成果と次年度に向けて】

□2 年目の活動となったが、若者 50 名となり、他の若者団体とも連携して自主的に活動を行うことができた。

□定期的に活動を展開し、活動の基盤を整えることができた。

■忙しい社会人がメンバーなので、チームマネジメントとアウトプットの質は引き続き検討が必要。

■コラボレーションカフェ（横浜市市民活動支援センター自主事業）

単なる参加者ではなく、当事者として市民活動に関わってくれる人を増やすためのコラボレーションカフェを開催した。

第1回 「横浜型地域貢献企業交流会—企業と NPO が協力する意味の実施」

（NPO 法人横浜スタンダード推進協議会共催）

日時：2011 年 7 月 15 日（金）15：00—17：00（交流会） 17:30—（懇親会）

場所：ロイヤルホールヨコハマ

第2回 「学生あるある 大相談会！」

（神奈川大学 GLOBAL☆YEN☆LEAP、関東学院大学環境サークル HEP、横浜国立大学環境ボランティアサークルベターでいずと共催）

横浜で活動している学生団体のプレゼンテーションや問題解決のためのワークを通して、団体運営のよくある悩みの大相談会を開催した。

日時：2011 年 11 月 19 日（土） 16:00～18:00

場所：神奈川大学 横浜キャンパス 23 号館 203 教室

参加者：学生 20 名



第3回「求む！R24のチカラ！“ヨコハマを変える100人”を集めるための作戦会議」

（YOKOHAMA ACTION PLANNER、ISSE、H&F と共催）

日時：11 月 26 日（土）15:00 ～ 18:00 会場：野毛 Hana*Hana

第4回 「コラボレーションカフェ～震災編」

実際に現地で活動してきた方々をお招きして、現地での活動状況を報告してもらいながら、現地の情報を共有した。あえて活動場所は絞らず、横浜のボランティアが、どういう場所でもんな活動をしてきたかを出し合った。

日時：2012 年 2 月 6 日（月）18:30-21:00

場所：横浜市民活動支援センターワークショップ広場



第5回「企業と NPO の現場を見る体感バスツアー」

日時：3 月 7 日（水）10:00 ～ 19:00

集合：10:00 JR 石川町駅改札 解散 19:00 横浜ビール現地解散

訪問先：NPO 法人さなぎ達→石井造園株式会社→片倉うさぎ山プレイパーク→株式会社横浜ビール

参加者：20 名

■その他

- ・神奈川特命子ども地域アクター養成アクション協議体への参加（神奈川県新しい公共の場づくりのためのモデル事業）
- ・日本ボランティアコーディネーター研究集会実行委員会に参加
- ・事務局長高城が「かながわ若者生き生き大賞・キララ賞」を受賞。

